

札幌市立伏見中学校 防災教育の推進に係る実践のまとめ

【第1回防災教育推進会議】9月5日(月) 伏見中学校防災教育推進計画検討

1 防災教育推進メンバー

校長、教頭、教務部長、
総合・学活・道徳係4人、生徒指導部長

2 内容

令和4年度札幌市防災教育研究推進事業について作成した伏見中学校防災教育の推進計画の説明、検討、修正

3 活動内容

伏見中学校の目標と研究主題・研究内容の説明
3月までの研究内容の取り組みについて

【職員会議】9月16日(金) 伏見中学校防災教育推進計画の共有

1 対象

全教師

2 内容

令和4年度札幌市防災教育研究推進事業について伏見中学校防災教育の推進計画の説明

3 活動内容

伏見中学校の目標と研究主題・研究内容の説明
研究内容の取り組みについて
教科会・校務部会を開き 防災教育等横断的な視点から、教科ごと・校務ごとに単元と内容を、例をもとに考察し、提出してもらい手順を説明

【第2回防災教育研究推進会議】11月16日(水) 防災教育と教科の横断的な教育課程の作成

1 防災教育推進メンバー

校長、教頭、教務部長、
総合・学活・道徳係4人、生徒指導部長

2 活動内容

- ・防災教育と教科の横断的な教育課程の作成について
- ・これからの予定・計画

【異学年交流に向けて】10月6日(木) 事前学習 札幌防災クイズ作成(総合的な学習の時間)

1 対象

各学年一斉、担任が指導

2 ねらい

防災について、自分が興味・関心を持った分野の知識を高める。

3 活動内容

今回作成する学級を代表する問題は、異学年交流グループディスカッションで配信・交流する。

①. 事前準備

- ・クロームブック(教師、生徒)
- ・まなびポケット→スクールタクト



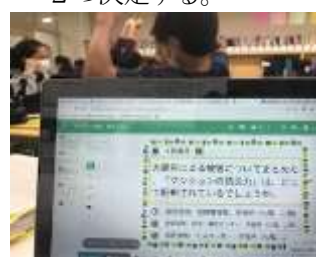
クト→総合防災

- ・札幌防災ハンドブック(1人1冊)

②授業展開



- ・「さっぽろ防災ハンドブック」を読みながら、個人でスクールタクトを用いてクイズを作る。(出題+答え・解説=スライド2枚)
- ・各学級を代表する問題を2つ決定する。



【伏見中学校防災教育推進異学年交流会】 11月11日(金)(総合的な学習の時間)

1 対象

全学年 異学年交流 (兄弟学級でグルーピング)

2 ねらい

- ・答えの無い問いについて考えさせることで、非常時に向けて自ら備え、非常時に自ら判断して行動できる生徒を育てる。
- ・3つの学年の生徒が混ざって考えることで、異なる立場で物事を考えたり、集団の中での自分の役割について考えたりする体験をさせる。

3 活動内容

「さっぽろ防災ハンドブックを使った授業」や「講演会」から災害リスクに対する考えを深めることができた。その中で身に付けた知識を生かして、今回の異学年交流で、「実際に災害が起きた時、自分たちはどんなことができるのか」を具体的に考え、1・2・3年生合同でグループディスカッションを行う。



中には、「知らない人とは話せない」生徒がいるが実際に災害が起きた時、周りに知っている人がいるとは限らない、その日出会った人たちに助けを求めたり、協力して問題を解決したり…という可能性も少なくないことも理解させ、たまたま同じグループになったメンバーの中



で、自分はどうのような役割を果たせばよいのかを考えさせる。

学習活動

- ① 学習活動の理解
- ② グループ分け
- ③ ディスカッションテーマについての個人の考えのまとめ
- ④ 体育館への移動
- ⑤ クイズ交流
- ⑥ 「防災トーク1・2・3」(グループディスカッション)

※留意点

3年生が進行役となって、質問意見を求めたり、話を深めたりするように指示する。記録役も決めておく。記録役はグループで出した内容を簡単にまとめ、提出する。



【札教研 中央区英語科部会における研究授業】

10月13日(木)

テーマ 災害が起こった時、外国の方への説明の仕方について

1 対象

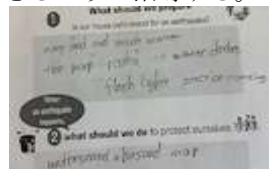
3年1組41名

2 ねらい

災害時のとっさの呼びかけ、事前準備や避難場所の説明を、訪日外国人に英語でどのように伝えたら良いかを学ぶ。

3 活動内容

Unit4で扱われている防災について、まずはしっかり学習し、発展的内容として、「ALT(ソニア先生)に、日本の防災についてもっと知ってもらおう。」という単元末課題を設定、災害時にどうすべきか、事前にどのような準備をすべきかなどについて考え、英語で表現できるように指導する。



【防災に関わる講演会】 10月14日(金)

災害・危機に備えて～地震・風水害・土砂災害など～
(総合的な学習の時間)

1 対象

全学年一斉

3年は体育館、1、2年は教室でテレビ放送を視聴

2 ねらい

- ・自然災害等の現状、原因及び減災等について理解を深め、現在及び将来に直面する災害に対してどのように意思決定、行動したら良いのかを考える。
- ・将来の危機を予測し、日常的にどのような備えをしておいたら良いかを考える。

3 活動内容

- ・札幌市危機管理局危機管理課から講師をお招きし、お話を映像から災害に際して、どのように意思決定し行動すべきかを考える。
- ・質疑応答の時間を設定し事前に決めておいた質問を答えていただく。

【道徳講演会】11月25日(金)5校時

株式会社 8kurasu 防災教育推進担当

講師 菊池 のどか様

(内容項目：D 生命の尊さ)

1 対象

全学年各教室(zoom使用)

2 ねらい

- ・東日本大震災で被災し、防災の大切さを伝えている菊池さんの話を聞き、災害を自分ごととして捉え、防災意識を高める。
- ・自他の命の尊さを再認識し、命を大切にす気持ちを育む。
- ・学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加、協力し貢献しようとする態度を育む。



3 活動内容

■【事前学習】

□11月22日(火)5校時

- ・各クラスで東日本大震災の映像等視聴。
- ・個人で東日本大震災について調べて、菊池さんに聞きたい質問を考える。
- ・グループで質問を発表し合い、グループ代表質問を1つ選ぶ。
→クラスで交流。



■【講演】

□11月25日(金)

- 13:25 各担任のクロムブックで zoom につなぐ
 - 13:30～14:10 講師の紹介、講演
 - 14:10～14:20 質疑応答、お礼の言葉(3年生代表)
- 振り返り用紙は最後に配り、家で記入するよう伝える。

■【事後学習】

□11月28日(月)

朝学活の時に振り返り用紙を提出。



【避難訓練実施要領】（特別活動） 様々な状況を想定し、自ら考え行動する実践的な避難訓練

伏見中学校

1 わらい

10月、11月に「防災対応強調週間」を設定して生徒に周知し、いずれかの日に避難訓練を行う旨を周知。いつでも対応できるように心の準備をしておくこととする。

上記の候補日と時間は、教職員のみ周知とし、生徒には事前に知らせないこととする。（10月19日実施）

2 想定する災害等

(1)災害の種類

地震

(2)発生時間

10月19日 5校時

(3)発生場所

札幌市で直下型地震発生



3 避難訓練実施のポイント

- (1)生徒自身がこれまで身に付けた防災についての知識を応用し、避難経路への理解を深め、地震に伴う二次災害への対応の仕方についての関心を高めることができるか。
- (2)教科担任が、避難指示を行う。特別教室などの避難経路、人数確認を迅速に行えるか。
- (3)「防災教育週間」を生徒に周知し、いずれかの日に避難訓練を行う旨を周知する。

4 生徒に指導する内容

- (1)現実の避難を想定して行うため、候補日は指定するが、日時は伝えない。
- (2)避難訓練は、防災対応強調週間（10/17～11/4）の以下の日のどれかで行う。

★避難訓練候補日

- ・10月18日（火）
- ・10月19日（水）
- ・10月24日（月）
- ・10月28日（金）
- ・11月1日（火）
- ・11月2日（水）

(3)避難訓練候補日は、外靴を入れる袋をもって登校し、玄関で外靴を袋に入れ教室まで持ってくる。



あわせて、移動教室の際には「外靴を持って」移動する。

(4)候補日に雨天中止の判断をした場合玄関に掲示する。（7：30）
その場合は、外靴を教室に持って行かない。

(5)特別教室などの移動先では「避難経路図」をしっかりと確認する。

5 教職員の動き

- ①避難訓練の意義について理解し、しっかりと心構えをもって臨む。
- ②実施日の授業担当者は、避難経路、担当クラスの出欠状況などを再確認しておく。
- ③教科担任は、素早く人員を確認し、確実に報告する。



伏見中学校防災教育の推進計画

1 目標

伏見中学生徒一人一人が、①災害に適切に対応する能力の基礎を培う力（自助）を身に付ける。②災害発生時等、危険を理解・予測し、地域の一員として家庭及び地域社会のために身に付けた知識・技能を実践できる力（共助）を身に付けることを目標とする。

発達段階に応じた防災教育

- ア. 自然災害等の現状、原因及び減災等について理解を深め、現在及び将来に直面する災害に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意志決定や行動選択ができる。**（知識、思考・判断）**
- イ. 地震、台風の発生等に伴う危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための行動ができるようにするとともに、日常的な備えができる。**（危険予測、主体的な行動）**
- ウ. 自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できる。**（社会貢献、支援者の基盤）**



中学校段階における防災教育の目標

日常の備えや的確な判断のもと主体的に行動するとともに、地域の防災活動や災害時の助け合いの大切さを理解し、進んで活動できる生徒

ア 知識、思考・判断

- ・災害発生のメカニズムの基礎や諸地域の災害例から危険を理解するとともに、備えの必要性や情報の活用について考え、安全な行動をとるための判断に生かすことができる。

イ 危険予測・主体的な行動

- ・日常生活において知識を基に正しく判断し、主体的に安全な行動をとることができる。
- ・被害の軽減、災害後の生活を考え備えることができる。
- ・災害時には危険を予測し、率先して避難行動をとることができる。

ウ 社会貢献、支援者の基盤

- ・地域の防災や災害時の助け合いの重要性を理解し、主体的に活動に参加する。

2 研究主題・研究内容

(1) 研究主題

国の第3次学校安全推進計画を踏まえ、いかなる場所・時間においても災害に適切に対応する能力（実践力）の基礎を培う防災教育の指導方法や学校全体としての実効性ある取組等に関する実践研究を行う。

(2) 研究内容

- ①避難訓練において、地域の特性を把握し災害の想定・発生時間に変化をもたせた訓練を行う。
- ②教科と防災教育の内容を教科横断的な視点で各教科等に位置付けるとともに、それぞれの教科等の特質に応じた防災・減災教育の充実を図ることにより、災害時に主体的に判断して実践する力、助け合いや共生の心を育成する。
- ③総合的な学習の時間において、生徒が防災に対する課題を自分で立て、整理・分析し、主体的・協働的に取り組む。また、横断的に各教科の学習内容と関連を図りながら自分の知識・技能を養う。
- ④道徳とのつながり
 - ・生命の尊重、差別意識の解消、多文化共生等人権尊重の精神
 - ・ボランティア精神及びやさしさや思いやりの心
 - ・互いに励まし合い高め合い、協力できる仲間づくり、集団生活の充実
 - ・人としてよりよく生きること
- ⑤防災教育に対する、教員の指導力・実践力の向上を目指す。

3 研究内容の取り組み

(1)避難訓練 地域の特性を把握し災害の想定・発生時間に変化をもたせた訓練を行う。

火災・地震・雪害など多様な災害を想定するとともに、休憩時間、清掃時間など災害の想定・発生時間に変化をもたせるなどの工夫をした避難訓練等の防災教育に係る体験的で実効性のある取組を行う。

(2)教科での防災教育（例）

理科 自然の恵みと災害 火山と地震

社会 災害発生メカニズム、地域の災害特性、地域での支え合い、防災体制等の知識

家庭 衣食住の生活避難所での食事について考える。災害時の非常食を作ったり食べたりする。

数学 変化と対応 地震発生時の波の速さと時間等、グラフで表して考える。

保健体育 心肺蘇生等の応急手当

(3)総合的な学習の時間

「さっぽろ防災王クイズ」の動画、「さっぽろ防災ハンドブック」を見ながら自分達でクイズを作る。

事前学習で作ったクイズを生徒がリモートで出し、全校生徒が答える。（10分くらい）

3学年混合でのグループディスカッション（3年2人、2年2人、1年2人くらいのイメージ）

（テーマ例：自分のベッド横に置く「防災バッグ」に入れておくものは何？友達と下校中に大地震が起こったら、どこに行って何をやる？家での「避難訓練」を企画してみようなど）

※各教室16室＋特別教室を使用する。

※グループ毎にA4サイズ程度の「まとめ」を作成し、活動場所で軽く交流後、1階ホールに掲示する。

(4)道徳とのつながり

教科書を使っての、生命の尊重（防災について）など

東日本大震災で被災された語りべの方（菊池のどか様）のオンライン講演会（全学年）

(5)教員の指導力・実践力の向上

教職員の危機管理能力、防災リテラシー（知識や能力を活用する力）や応急処置能力の向上

防災体制（教職員の訓練実施を含む）、防災教育に関する校内研修の充実

防災教育のカリキュラム・指導方法・指導内容の研究・見直し

4 研究推進計画予定

月	日	限	活動内容	担当	備考
9	5		【防災教育推進会議①】 伏見中学校防災教育推進計画検討		
	16		【職員会議】 防災教育推進計画の共有		
10	6	6	【総合①】 事前学習 札幌防災クイズ作成		
	12		札教研 中央区英語科部会において研究授業常富教諭 災害が起こった時、外国の方への説明の仕方について		
	13		【教科会】防災教育等横断的な視点から、教科ごと単元と内容を、 例をもとに考察する。		10月21日（金） まで
	14	5	【総合②】 講演会① 講演者 札幌市危機管理課より派遣		体育館（3年） テレビ放送 （1・2年）
	17		【防災対応強調週間】 週間 10月17日～11月 4日の間で避難訓練を行う。10月19日（金） 5校時 地震を想定しグラウンドへ避難。		教科担任が担当クラ スを避難させる。 生徒には、未通知
	28		【防災教育研究公開授業参観 平岸西小】 13：30～教員参加		
	31		【校務部会】部会ごとの活動の中で、防災に関する活動や関連し て行えることを考察する。		11月4日（金） まで
11	11	5・ 6	【総合③④】 事後学習 札幌防災クイズ 解答 異学年混合でのグループディスカッション		各教室16室＋特別 教室を使用
	16		【防災教育推進会議②】 防災・安全に関する伏見中学校教科等横断的な視点か らの教育課程を編成（案）の提示		
	25	5	【道徳】講演会②【内容】 講師：株式会社8Kurasu 防災教育推進担当 菊池 のどか 氏		Zoomで行う予定
1	下旬	予定	【理科】公開授業 2学年「気象」		推進校・市教委・ 危機管理局 来校
3			【防災教育推進会議③】 成果報告及び実践まとめの検討		

伏見中学校 防災を含む安全に関する教育のイメージ

教科等横断的な視点から教育課程を編成

【道徳】 互いに励まし合い高め合い、生命の尊重、ボランティア精神及びやさしさや思いやりの心を協力できる仲間づくり

主体的な行動に必要な力を育む（自助）

【国語 2年】

根拠の適切さを考えて書こう
災害時の個々の役割について意見を明確に伝える。

【保健体育 2年】

運動やスポーツの体と心への効果
ストレスを軽減する。社会性を高める。ルールやマナーを尊重する。

【家庭 1・2年】

衣食住の生活
避難所での食事について考える。
災害時の非常食を作ったり食べたりする。

【技術 2年】

情報機器の操作方法に慣れ、活用して情報を集める。

地域の一員としての役割を

【社会公民 3年】

3節 地方自治と私たち
住民参加の広がり。

【外国語 3年】

Unit 4 外国人が日本で災害にあったとき、何が困るかを理解し、助けることができるようにする。

【保健体育 3年】

共に健康に生きる社会
災害時における、社会的活動、ボランティア。

【音楽 1・2・3年】

災害時には仲間とのつながりがより一層支えとなることを想像し、友を大切にすることを大切にすることを込めて合唱する。

自然現象等について理解する

【数学 1年】

変化と対応
地震発生時の波の速さと時間等、グラフで表して考える。

【理科 3年】

生物と環境
大地の変化の特徴を理解し、科学的に考察する。

【社会 2年】

第2章 日本の地域的特色
日本のさまざまな自然災害について理解する。

【理科 2年】

自然の恵みと気象災害
資料などを基に気象災害について調べさせる。

安全で安心して生きるための中核となる力を育む

【技術 1年】

材料と加工の技術
性質、材料の組み合わせを工夫したトラス構造などを理解していくこと。

【数学 2年】

図形の性質の調べ方
トラス構造はなぜ安定するのかを合同条件を使って考える。

【保健体育 2年】

応急手当の意義と基本
適切な応急手当が悪化を防ぎ命を救う。

【美術 1年】

防災用具のマークなどを考えさせる。

【総合的な学習の時間】 現在・未来において、自分が生活している環境に
応じた、防災・安全に関する探究的な学習

【特別活動】・多様な意見のよさを生かし、合意形成を行い、協力して実践すること。（話し合い活動）